

平成19年10月10日

各 位

東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
株式会社日本M&Aセンター
代表取締役社長 分林保弘
(コード番号:2127 東証マザーズ)
問合せ先:取締役管理本部長 楢木孝麿
電話番号:(03)5220-5454(代表)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年5月10日の決算発表時に公表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想および配当予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位;百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	1,453	592	600	377
今回修正(B)	1,812	950	964	591
増減額(B)-(A)	+359	+358	+364	+214
増減率(%)	+24.7	+60.5	+60.7	+56.8
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期中間)	1,289	594	590	333

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位;百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	3,160	1,184	1,200	724
今回修正(B)	3,430	1,430	1,450	862
増減額(B)-(A)	+270	+246	+250	+138
増減率(%)	+8.5	+20.8	+20.8	+19.1
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	2,631	1,019	1,005	568

(3) 修正の理由

【中間期】

当社グループは、株式上場後最初に迎えた当連結会計年度において上場企業として株主の皆様の負託に永続的・安定的にお応えすべく、全社員が一丸となり新たな緊張感をもって積極的に業務に取り組みました。

この結果、当連結中間期を通じて好調を維持し、終始安定的に成約案件を積上げることができました。

①当連結中間期の案件成約数は55件（前年同期比5.8%増。譲渡・譲受は別カウント）に増加し、そのうえで、②案件全体のフィーレベルの上昇による収入の増加や、③原価である紹介料の発生しないダイレクト照会案件の増加による利益率の向上が当連結中間期の収益拡大に寄与いたしました。

以上により、当連結中間期の業績予想を、売上高1,812百万円（前年同期比40.6%増）、営業利益950百万円（同59.8%増）、経常利益964百万円（同63.5%増）、当期（中間）純利益591百万円（同77.3%増）といたしました。これらはすべて前回予想を上回り、経常利益964百万円は、前回予想600百万円を60.7%上回る見込みとなりました。

【通期】

国内M&Aマーケットの中でもとりわけ当社グループがターゲットとしている後継者問題解決のための中堅中小企業のM&Aマーケットは、少子高齢化等を背景に今後も安定的に拡大を続けていくものと当社では分析しています。

上記の経営環境の下、通期も現在の好調を維持できるものと考えております。

当連結会計年度の通期の業績予想は、当連結中間期における案件の一部前倒し成約も考慮し、売上高3,430百万円（前年同期比30.3%増）、営業利益1,430百万円（同40.3%増）、経常利益1,450百万円（同44.2%増）、当期純利益862百万円（同51.7%増）といたしました。これにより、経常利益1,450百万円は、前回予想1,200百万円を20.8%上回る見込みとなりました。

2. 単体業績予想の修正

(1) 中間期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(単位；百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1,454	583	589	370
今回修正 (B)	1,813	937	950	582
増減額 (B) - (A)	+359	+354	+361	+212
増減率 (%)	+24.7	+60.7	+61.3	+57.3
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期中間)	1,287	576	571	395

(2) 通期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(単位；百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	3,163	1,166	1,172	703
今回修正 (B)	3,433	1,412	1,422	842
増減額 (B) - (A)	+270	+246	+250	+139
増減率 (%)	+8.5	+21.1	+21.3	+19.8
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期)	2,631	991	976	623

(3) 修正の理由

上記1. (3)に記載のとおりです。

3. 配当予想の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(1) 修正の内容

	1株当たり配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間配当金
前回予想 (平成19年8月8日発表)	1,500円	1,500円	3,000円
今回修正	2,000円	2,000円	(注) 4,000円
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期)	—	10,000円	10,000円

(注) 平成19年4月1日付で株式1株につき4株の株式分割を行っており、この1株当たり配当金は、当該分割後における予想配当額を記載しております。

前期との比較のため分割前の配当額に換算すると年間配当額は16,000円となり、前期比6,000円(前期比実質60.0%増)の増配となります。

(2) 修正の理由

当社は、財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主に対する長期的な利益還元を経営の最重要課題と認識しており、設立第2期より前第16期に至るまで安定した利益配当を継続して実施してまいりました。

今後とも、安定的な株主還元を主軸に、利益水準や内部留保の拡大にあわせて配当水準を適宜上げていくたく考えております。

前記のとおり、平成20年3月期の業績予想が平成19年5月10日公表の予想値を上回る見込みであるため、中間及び期末の1株当たりの配当予想を上記のとおり修正いたしました。

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上